

病院概要 2023



兵庫医科大学病院
特定機能病院

患者さんに 満足していただける 医療を目指して

ごあいさつ

兵庫医科大学病院 病院長 阪上 雅史

患者さんのQOLに配慮した、安全で質の高い病院を目指します

兵庫医科大学病院は963床、入院患者数1日742人、外来患者数2,352人（紹介率88.8%、逆紹介率65.3%）、年間手術数9,382件の診療を行う特定機能病院です。39の診療科と29の中央診療施設（感染制御部、放射線医療センターなど）が高度な先進医療を提供しています。2013年に開院した急性医療総合センターには手術センター、救命救急センター、周産期センター、脳卒中センター、ICUなど急性期医療を集約し、災害拠点病院としても機能を発揮します。2008年には地域がん診療連携拠点病院に指定され、がんセンターを中心としてがん診療をさらに発展させていきます。

新型コロナウイルスに対しては、感染制御部の指導下に医師・看護師・薬剤師・技師・事務など多職種がone teamとなって感染対策を実施し、職員2,800人のうち2022年12月までの3年間にPCR陽性者は計1,238人と少なく、入院制限は3回で、コロナの影響を最小限にとどめました。救命救急センターにコロナ病棟として18床を確保して342人の重症患者を受け入れ、感染症外来では7,395人を診察し、地域の中核病院としての役割を果たしました。2023年5月に新型コロナウイルス感染症は5類感染症になりますので、ポストコロナ下での医療体制を整備していく所存です。

大学病院としては、医師・看護師・薬剤師・技師などを目指す学生や研修生が、将来の医療を担うべく勉学に励む活力にあふれた病院です。単なる知識や技術の習得だけでなく、「自分の親だったらどう治療するか考えなさい」と若者に教えています。

受診された患者さんに安全で質の高い医療を提供するだけでなく、患者さんご家族のQOL（生活の質）や満足度を高めることも重要と考えています。多職種連携のチーム医療で外来受診から入院・退院まできめ細かくフォローできる体制を作り、患者さんと職員の良好なコミュニケーションを構築することに日々努めております。

最後に、「オール兵庫医大」で患者さんに満足していただける病院を目指しておりますので、よろしくお願い申し上げます。



理念

基本方針

兵庫医科大学病院 倫理要綱

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

- 人権を尊重し、患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな優れた医療人の育成
- 高度で先進的な医療や医学研究の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携
- 健康増進活動による地域の保健・福祉の推進

兵庫医科大学の建学の精神（社会の福祉への奉仕、人間への深い愛、人間への幅広い科学的理解）に則り、病院の理念である安全で質の高い医療を提供し、地域社会へ貢献するため、次のことに最大の努力を講じるものである。

職業倫理

- ・我々は病める人の治療はもとより、人々の健康の維持、増進を図るため、常に医療の知識と技術の習得及びその向上に努める。
- ・我々はこの職業の尊厳と社会的責任を深く自覚し、人格、教養を高めるように心がける。
- ・我々は医療を受ける人々の権利を尊重し、誠実に対応するとともに、信頼を得るように努める。
- ・我々は相互に尊敬し、チーム医療を通して医療に関わるあらゆる安全管理に全力をあげて取り組む。
- ・我々は医療の公共性を重んじ、医療を通して地域社会に貢献する。

臨床倫理

- ・我々は患者さんに公平、公正かつ質の高い有益な医療を提供する。
- ・我々は医療内容や必要な事項について、分かりやすい言葉で丁寧に説明する。
- ・我々は守秘義務と個人情報の保護を徹底する。
- ・我々は関係法令等を遵守するとともに、倫理委員会での答申結果に則り医療を提供する。

患者さんの権利

- 良質で安全な医療を平等に受けることができます。
- 病気や治療について、わかりやすく十分な説明を受けることができます。
- 診療内容をご自身で選択することができます。
- 診療内容について、他の医師の意見を聞くことができます。
- ご自身の診療情報を入手することができます。
- いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
- プライバシーは常に保護・尊重されます。
- 患者さんの権利に関する「リスボン宣言」を尊重し、患者さん本位の医療を実現することができます。

患者さんへのお願い

- 診療を受けるにあたって、健康状態、お薬の服用状況、その他必要なことは、情報提供してください。
- 診療は患者さんと協同して行いますので、積極的に診療にご参加ください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 大学病院として、将来の医療を担う医学生、看護学生などの臨床実習、臨床研修医の育成を行っています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

子どもの患者さんの権利

- 子どもたちは一人の人間として大切にされます。（子どもの基本的人権の保障）
- 子どもたちは病院でもできる限り家族と過ごすことができます。（親と引き離されない権利）
- 子どもたちは入院していても、遊んだり、勉強したりすることができます。（遊ぶ権利、教育を受ける権利）
- 子どもたちは最善と思われる治療を受けることができ、病院の人は病気や治療に伴う痛みや苦しみをできる限り少なくする努力をします。（最善の医療を受ける権利）
- 子どもたちは病気のこと治療方法について、年齢や理解度に応じた方法で、わかりやすい説明を受けることができます。（知る権利）
- 子どもたちは病気のこと治療方法について、十分な説明を受けたいと、自分の思いや考えを家族や病院の人に伝えることができます。（意見を表す権利）
- 子どもたちは他の人に知られたくないことは守られます。（秘密を守られる権利）



名 称	兵庫医科大学病院		
所在地	兵庫県西宮市武庫川町1番1号		
開設年月日	1972(昭和47)年4月1日		
標榜診療科目	◆内科 ◆循環器内科 ◆呼吸器内科 ◆消化器内科 ◆血液内科 ◆内分泌・代謝内科 ◆糖尿病内科 ◆脳神経内科 ◆肝臓・胆のう・膵臓内科 ◆腎臓・人工透析内科 ◆リウマチ科 ◆アレルギー科 ◆腫瘍内科 ◆精神科 ◆脳神経外科 ◆小児科 ◆整形外科 ◆呼吸器外科 ◆心臓血管外科 ◆皮膚科 ◆泌尿器科 ◆外科 ◆消化器外科 ◆乳腺・内分泌外科 ◆小児外科 ◆形成外科 ◆美容外科 ◆耳鼻いんこう科 ◆頭頸部外科 ◆産婦人科 ◆眼科 ◆放射線科 ◆放射線治療科 ◆麻酔科 ◆歯科 ◆歯科口腔外科 ◆リハビリテーション科 ◆救急科 ◆ペインクリニック・疼痛緩和外科 ◆臨床検査科 ◆病理診断科		
	(41標榜診療科) ※2018年10月1日に変更		

病床数	963床(一般：919床、精神：44床)		
土地・建物	敷地面積：42,494.15㎡ 建物面積：延98,835.21㎡		

職員数

2023年3月1日現在

職 種		人 数	職 種		人 数
医 師	常 勤	638	臨 床 工 学 技 士		28
	非常勤	83	理 学 療 法 士		34
歯科医師	常 勤	23	作 業 療 法 士		14
	非常勤	5	言 語 聴 覚 士		11
薬 剤 師		75	視 能 訓 練 士		10
看 護 師		1,042	歯 科 衛 生 士		6
准 看 護 師		3	歯 科 技 工 士		2
助 産 師		39	ソーシャルワーカー		11
管 理 栄 養 士		9	看 護 助 手		181
診 療 放 射 線 技 師		51	そ の 他		302
臨 床 検 査 技 師		98	合 計		2,665

拠点病院指定状況

区分	指定等の年月
特定機能病院の承認	1994 年 3 月
災害拠点病院に指定	1996 年 10 月
阪神南圏域地域リハビリテーション支援センターに指定	2004 年 4 月
兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定	2007 年 7 月
地域がん診療連携拠点病院に指定	2008 年 2 月
肝疾患診療連携拠点病院に指定	2008 年 4 月
兵庫県認知症疾患医療センターに指定	2009 年 4 月
総合周産期母子医療センターに指定	2015 年 4 月
兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定	2018 年 2 月
がんゲノム医療連携病院に指定	2018 年 4 月
兵庫県難病診療連携拠点病院に指定	2019 年 4 月
小児がん連携病院に指定	2019 年 11 月

兵庫医科大学病院は、 日本医療機能評価機構の認定病院です

兵庫医科大学病院は、(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定証(3rdG:Ver.2.0)の交付(一般病院)を受けています。病院機能評価は(財)日本医療機能評価機構が第三者の中立的な立場から、医療機関の質やサービス改善への努力などを評価するものです。



沿革

- | | | | | |
|-----------|----------------------------------|-----------------|--|-----------------------------|
| 1971年 11月 | ・学校法人兵庫医科大学寄附行為認可
・兵庫医科大学設置認可 | 2015年 4月 | ・健康医学クリニック開設
・総合周産期母子医療センターに指定 | |
| 1972年 4月 | ・兵庫医科大学開学
・兵庫医科大学病院開設 | 2016年 2月 | ・(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG: Ver.1.1)認定
・臨床検査室の品質と能力に関する国際規格ISO15189:2012の認証取得 | |
| 1994年 3月 | ・特定機能病院の承認 | 2018年 2月 | ・兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定 | |
| 1996年 10月 | ・災害拠点病院に指定
11月 | ・エイズ拠点病院に指定 | 2018年 4月 | ・教育研究棟完成
・がんゲノム医療連携病院に指定 |
| 2001年 8月 | ・地域周産期母子医療センターに指定 | 2019年 4月 | ・兵庫県難病診療連携拠点病院に指定 | |
| 2004年 4月 | ・阪神南圏域地域リハビリテーション支援センターに指定 | 2019年 9月 | ・がんゲノム医療拠点病院に指定 | |
| 2007年 7月 | ・兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定 | 2019年 11月 | ・小児がん連携病院に指定 | |
| 2008年 2月 | ・地域がん診療連携拠点病院に指定
4月 | ・肝疾患診療連携拠点病院に指定 | 2020年 4月 | ・地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定 |
| 2009年 4月 | ・兵庫県認知症疾患医療センターに指定 | 2022年 10月 | ・梅田健康医学クリニック開設 | |
| 2013年 4月 | ・病床数 991 床から 963 床に変更承認 | 2023年 4月 | ・地域がん診療連携拠点病院に指定 | |

★兼任

病 院

病院長 阪上 雅史
副院長 池内 浩基
副院長 廣瀬 宗孝
副院長 石原 正治
副院長 木島 貴志
副院長 篠原 尚
副院長 高橋 仁美

診療部

内 科 部 門 長 木島 貴志★
小 児 科 診療部長 竹島 泰弘
放 射 線 科 診療部長 山門 亨一郎
精 神 科 診療部長 松永 寿人
神 経 科 診療部長 金澤 伸雄
皮 膚 科 診療部長 池内 浩基★
外 科 部 門 長 池内 浩基★
産 科 婦 人 科 診療部長 柴原 浩章
整 形 外 科 診療部長 橋 俊哉
形 成 外 科 診療部長 垣 正男
泌 尿 器 科 診療部長 山本 新吾
神 経 外 科 診療部長 吉村 紳一
眼 科 診療部長 五味 文
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療部長 都築 建三
麻酔科・疼痛制御科 診療部長 廣瀬 宗孝
歯 科 口 腔 外 科 診療部長 岸本 裕充
救 急 診療部長 平田 淳一
リハビリテーション科 診療部長 道免 和久
病 理 診 断 科 診療部長 廣田 誠一

循環器内科 診療部長 石原 正治
血液内科 診療部長 吉原 哲
アレルギー・リウマチ内科 診療部長 松井 聖
糖尿病・内分泌・代謝内科 診療部長 小山 英則
肝・胆・脾内科 診療部長 榎本 平之
消化管内科 診療部長 新崎 信一郎
呼吸器内科 診療部長 木島 貴志
脳神経内科 診療部長 木村 卓
腎・透析内科 診療部長 倉賀野 隆裕
総合内科 診療部長 新村 健

肝・胆・脾外科 診療部長 廣野 誠子
上部消化管外科 診療部長 篠原 尚
下部消化管外科 診療部長 池田 正孝
炎症性腸疾患外科 診療部長 池内 浩基
乳腺・内分泌外科 診療部長 三好 康雄
小 児 外 科 診療部長 山門 亨一郎
心 臓 血 管 外 科 診療部長 坂口 太一
呼 吸 器 外 科 診療部長 長谷川 誠紀

中央診療施設

(診療部門)

総合診療センター センター長 新村 健★
リハビリテーションセンター センター長 道免 和久★
ペインクリニック部 部 長 高雄 由美子
がんセンター センター長 木島 貴志★
緩和ケアセンター センター長 廣瀬 宗孝★
肝疾患センター センター長 榎本 平之★
IBDセンター センター長 池内 浩基★
血液浄化センター センター長 倉賀野 隆裕★
腎移植センター センター長 山本 新吾★
生殖医療センター センター長 柴原 浩章★
遺伝子医療部 部 長 澤井 英明
認知症疾患医療センター センター長 武田 正中
中皮腫センター センター長 長谷川 誠紀★
医療支援センター センター長 篠原 尚★
(手術部門) 手術センター センター長 多田 羅恒雄
アイセンター センター長 五味 文★
(ケアユニット部門) 救命救急センター センター長 平田 淳一★
熱傷センター センター長 平田 淳一★
ICU 部 長 竹田 健太
脳卒中センター センター長 吉村 紳一★
周産期センター センター長 竹島 泰弘★
(検査部門) 放射線医療センター センター長 山門 亨一郎★

臨床検査部 部 長 小柴 賢洋
輸血・細胞治療センター センター長 日笠 聡
病院病理部 部 長 廣田 誠一★
内視鏡センター センター長 富田 寿彦
超音波センター センター長 西村 貴士
(医療安全部門) 医療安全管理部 部 長 田中 宏幸
感染制御部 部 長 中嶋 一彦

中央部門

看護部 部 長 高橋 仁美
薬剤部 部 長 木村 健
放射線技術部 部 長 琴浦 規子
臨床検査技術部 部 長 狩野 春艶
リハビリテーション技術部 部 長 狩野 直樹
臨床心理部 部 長 松永 寿人★
医療社会福祉部 部 長 篠原 尚★
臨床栄養部 部 長 倉賀野 隆裕★
臨床工学部 部 長 木村 政義
診療情報管理室 室 長 澤井 英明★

卒後研修室

室 長 平野 公通

臨床研究支援センター

センター長 朝倉 正紀

病院事務部

部 長 小寺 育人

医療チーム※

(関連施設)

梅田健康医学クリニック

院 長 大柳 光正

画像診断グループ グループ長 池田 譲太
放射線治療グループ グループ長 富士原 将之
IVR診療グループ グループ長 山門 亨一郎
核医学・PET診療グループ グループ長 北 島 一 宏

※医療チーム

感染対策チーム (ICT)

褥瘡対策チーム

栄養サポートチーム (NST)

緩和ケアチーム

呼吸ケアチーム (RST)

ラピッドレスポンスチーム (RRS)

精神科リエゾンチーム

周術期管理チーム

認知症ケアチーム

排尿ケアチーム

抗菌薬適正使用支援チーム (AST)

子どもと家族の支援チーム

エコーガイド下CVC挿入推進チーム

救命処置 (BLS・ALS) 推進チーム

新型コロナウイルス感染症流行禍における
職員のメンタルサポートチーム

臨床倫理コンサルテーションチーム

慢性疼痛集学的治療チーム

報告書確認サポートチーム

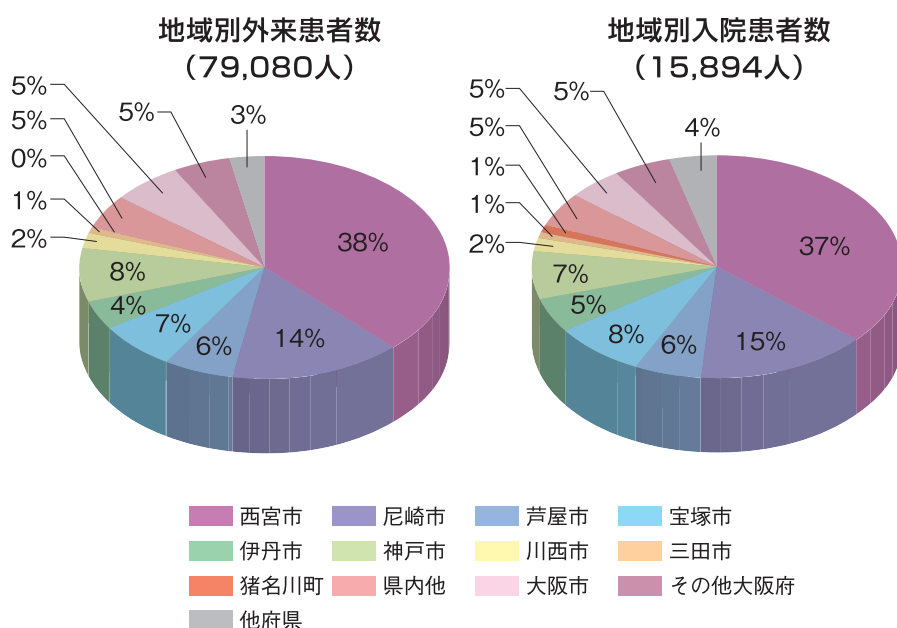
AYA世代がんサポートチーム

管理課、医事課、医療支援課、医療マネジメント課、
臨床研究課、医療人教育課

患者数

地域別患者数(実患者数)

2022年1月～12月



地域名	外 来	入 院
西 宮 市	30,403	5,934
尼 崎 市	11,441	2,380
芦 屋 市	4,421	877
宝 塚 市	5,808	1,333
伊 丹 市	3,389	721
神 戸 市	6,404	1,120
川 西 市	1,710	375
三 田 市	695	143
猪 名 川 町	349	93
県内その他	3,636	759
大 阪 市	4,124	805
その他大阪府	4,021	729
他 府 県	2,679	625
合 計	79,080	15,894

診療科患者数(延患者数)

2022年1月～12月

診療科	外来延患者数	入院延患者数
内科	222,850	97,918
小児科	14,734	12,162
外科	51,755	51,124
整形外科	33,800	17,660
形成外科	6,789	2,070
脳神経外科	15,284	20,576
皮膚科	18,012	2,690
泌尿器科	23,771	10,922
産科婦人科	23,570	10,715
眼科	43,906	11,998
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	27,287	9,427
放射線科	16,793	1,722
歯科口腔外科	23,253	3,578
ペインクリニック部	9,655	1,712
リハビリテーション部	61,379	—
救命救急センター	940	10,406
遺伝子医療部	398	—
核医学・PETセンター	724	—
総合診療センター	6,907	—
精神科神経科	28,445	6,133
合 計	630,252	270,813

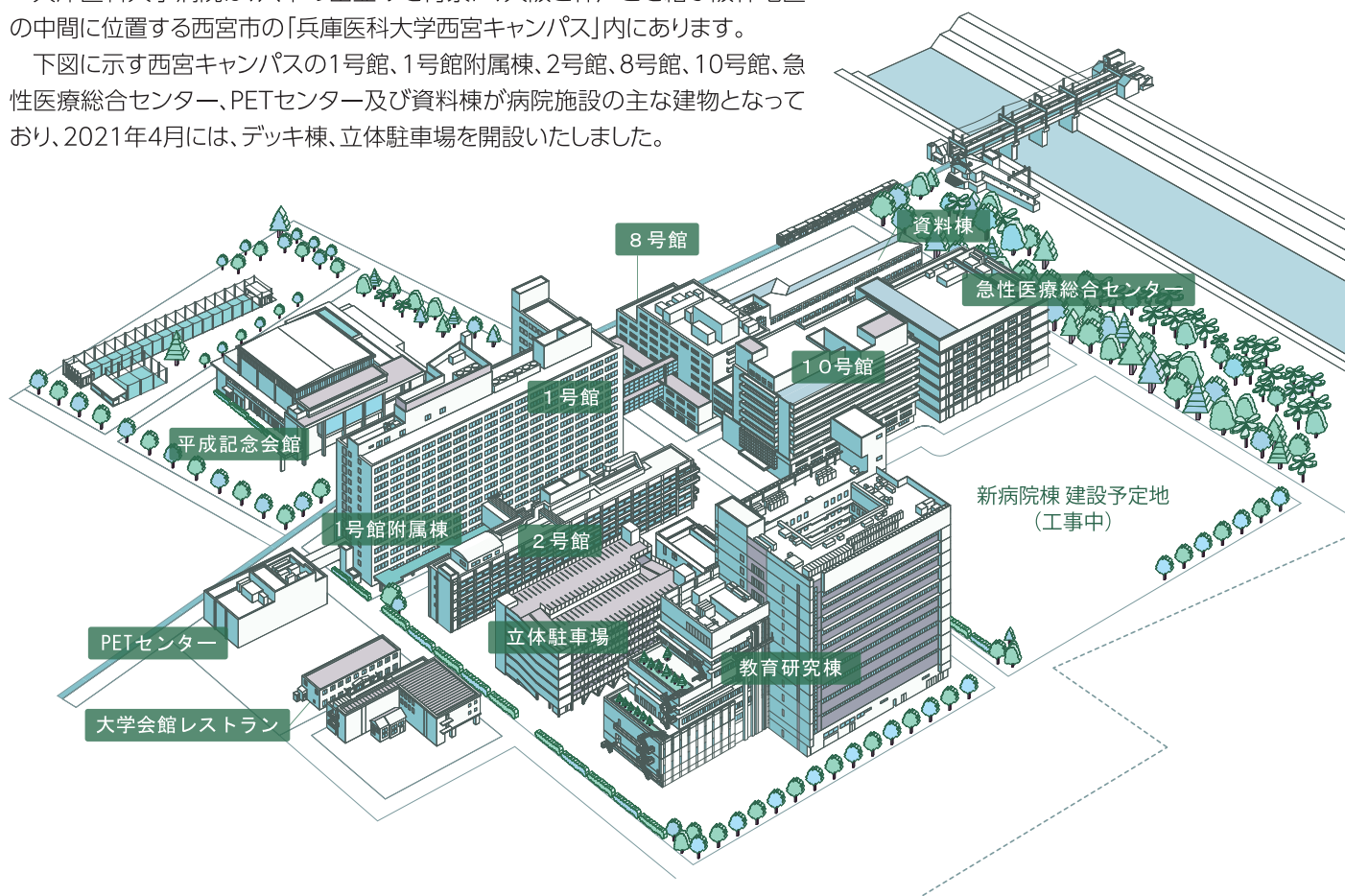
内 科	外来延患者数	入院延患者数
循環器内科	30,402	15,215
血液内科	17,105	16,629
アレルギー・リウマチ内科	24,308	4,450
糖尿病・内分泌・代謝内科	27,845	5,909
肝・胆・膵内科	25,971	9,545
消化管内科	24,151	12,585
炎症性腸疾患内科	19,407	5,510
呼吸器内科	25,874	14,432
脳神経内科	12,973	6,579
腎・透析内科	12,029	7,064
総合内科	2,785	0
合 計	222,850	97,918

外 科	外来延患者数	入院延患者数
肝・胆・膵外科	6,570	8,657
小児外科	2,707	1,121
上部消化管外科	3,981	5,849
下部消化管外科	8,148	9,463
炎症性腸疾患外科	4,711	6,359
乳腺・内分泌外科	13,864	3,813
心臓血管外科	4,685	6,974
呼吸器外科	7,089	8,888
合 計	51,755	51,124

建物配置図

兵庫医科大学病院は、六甲の山並みを背景に、大阪と神戸とを結ぶ阪神地区の中間に位置する西宮市の「兵庫医科大学西宮キャンパス」内にあります。

下図に示す西宮キャンパスの1号館、1号館附属棟、2号館、8号館、10号館、急性医療総合センター、PETセンター及び資料棟が病院施設の主な建物となり、2021年4月には、デッキ棟、立体駐車場を開設いたしました。



病院施設

- 急性医療総合センター：救命救急センター、熱傷センター、IVRセンター、集中治療センター、手術センター、アイセンター、周産期センターなど
- 1号館：初診受付、医療支援センター、外来、病棟、薬剤部、臨床検査部など
- 1号館附属棟：臨床研究支援センター

- 2号館：外来、リハビリテーションなど
- 8号館：外来、病棟、認知症患者医療センター、がんセンター、中皮腫センターなど
- 10号館：病棟、看護部など
- PETセンター：PET検査室など
- 資料棟：診療情報管理室など



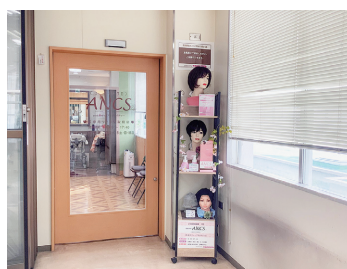
カフェ(1号館附属棟3階)



コンビニエンスストア(1号館附属棟3階)



コンビニエンスストア(10号館3階)



理容室(1号館附属棟2階)

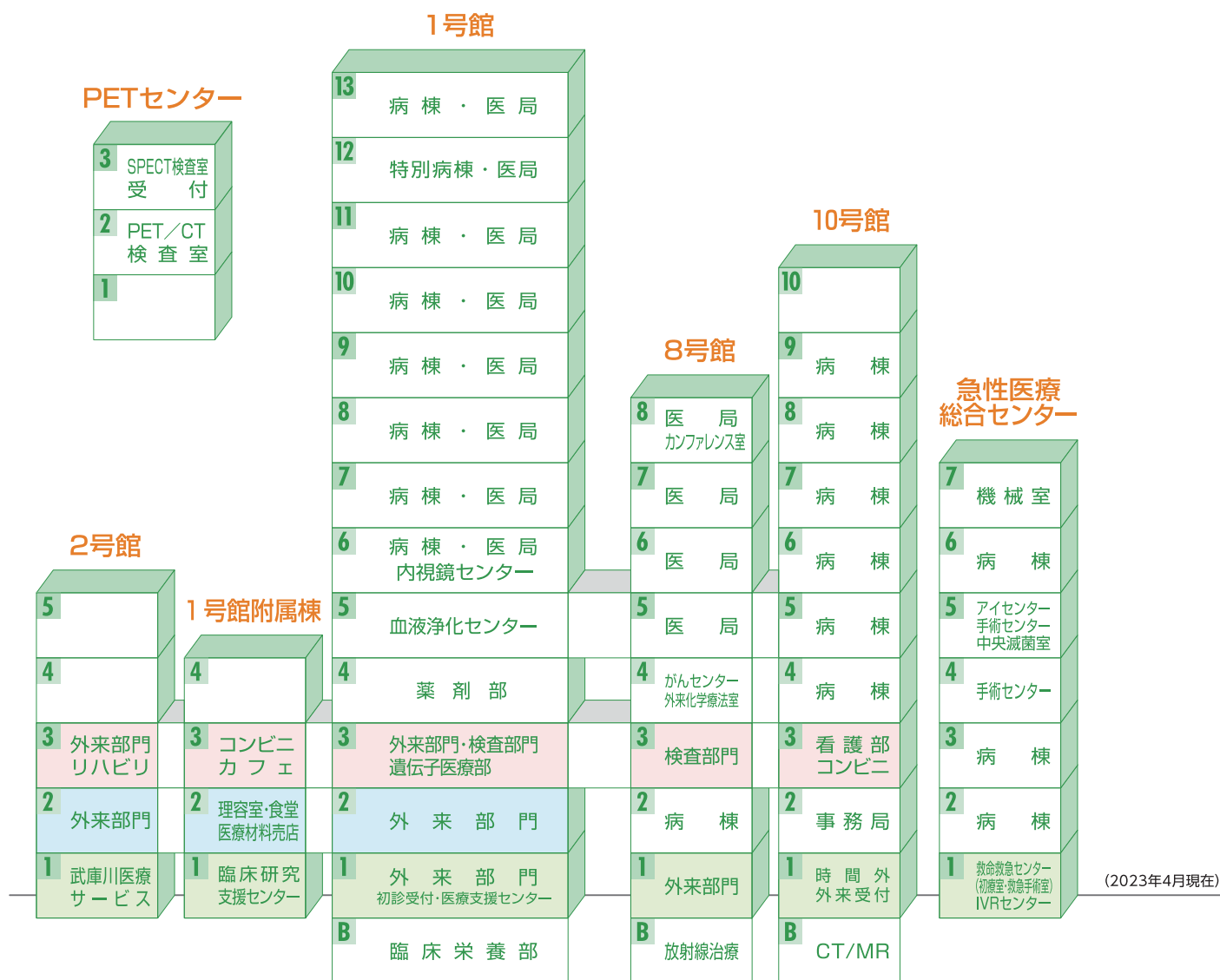


医療材料売店(1号館附属棟2階)



食堂(1号館附属棟2階)

フロアガイド



12階 特別病棟

展望の良い1号館12階に、心安らぐ療養環境と高いセキュリティ機能を整備した特別病棟(28床)を設けており、経験豊富なスタッフを揃え、質の高い医療の提供に努めています。



S室(病室)



S室(バスルーム)



病棟入口セキュリティ

※設備・仕様等は、
部屋により異なります。

1972年4月の開設以来、医学教育機関として、また阪神地区の基幹病院として、その責務にふさわしいスタッフと最新の医療施設・機器を備え、周辺の医療機関との連携を図りながら、常に質の高い医療を提供しています。

急性医療総合センター

急性医療総合センターは、災害拠点病院及び特定機能病院として、高度医療センターの整備を目的とし、2013年4月に救命救急センター、手術センター、集中治療センター等を集約して配備し、大規模災害時にも機能し得る施設としてオープンしました。



急性医療総合センター

7F	機械室
6F	周産期センター (NICU・GCU・産科手術室など)
5F	アイセンター 手術センター（中央滅菌室）
4F	手術センター
3F	集中治療センター (ICU・HCU)
2F	救命救急センター (EICU・CCU・救急病床など)
1F	救命救急センター (初療室・救急手術室など) 熱傷センター IVRセンター

【急性医療総合センター概要】

建築面積 2,516㎡
 延床面積 15,283㎡
 構造 鉄筋コンクリート造
 免震構造 地上7階建
 高さ 35.8m

急性医療総合センターの特徴

急性期医療を担う高度医療センター

急性医療総合センターには、救命救急センター、手術センター、集中治療センターなど急性期医療の中核をなす施設を集約。10号館をはじめとする既存医療機能とも効率的に接続するなどしながら、より高度な医療を展開していきます。

大規模災害時にも機能し続ける医療施設

建物への免震構造の採用や、地階を作らず機械室を最上階に配置するなど、地震や水害(集中豪雨、洪水)などの災害時にも機能し続ける医療施設を目指します。

スタッフのアメニティにも配慮

緊張の続く医療スタッフがくつろぐことのできる専用ラウンジを設けるなど、スタッフのアメニティにも配慮しています。



手術センター

14室の手術室を設置し、血管撮影装置を統合したハイブリッド手術室や、内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXi」など、最新鋭の医療機器を導入しました。



救命救急センター

1階に初療室、熱傷専門処置室、手術室、2階にEICU(救命救急集中治療室)、CCU(冠動脈疾患集中治療室)、救急病床の計42床を設置しました。厚生労働省が毎年実施する救命救急センターの充実度段階評価ではS評価(最高評価)を得ています。大学病院の特性を生かし、病院内の全診療科と連携して、地域の救急医療に貢献しています。



周産期センター

一般病床24床のほか、MFICU(母体胎児集中治療室)6床、NICU(新生児集中治療室)15床、GCU(新生児治療回復室)18床(稼働12床)を設置。総合周産期母子医療センターの許可を受け、阪神地域の基幹病院として、産前産後の一貫した療養を提供しています。



アイセンター

眼科手術の安全性向上と病床運営の円滑化・効率化による患者サービスの向上を目的に設置され、10年以上の運用実績があります。最新鋭の手術機器を備えた眼科専用手術室3室と眼科病棟を総合的に管理・運営しています。



IVRセンター

血管造影装置とCTが複合したIVR-CTや、同時に2方向からの透視・撮影が可能なバイプレーン血管撮影装置など、最新鋭の装置を備えた4つのIVR室が設置されています。



集中治療センター

ICU14床と、一般病棟との中間的な働きを担うHCU(ハイケアユニット)24床を設置。手術後の高度な全身管理が必要な場合や、院内の急変などに対応して集中治療を行います。



PETセンター

2006年11月に高齢化に伴い、増え続けるがんの早期発見・早期治療のため、最新鋭の技術と機能を導入するとともに、これまで蓄積してきた人的・知的な“力”を集約して的確な診断を行い、地域のがん治療に貢献することを目的として開設。現在はPET/CT装置2台で検査を行っています。



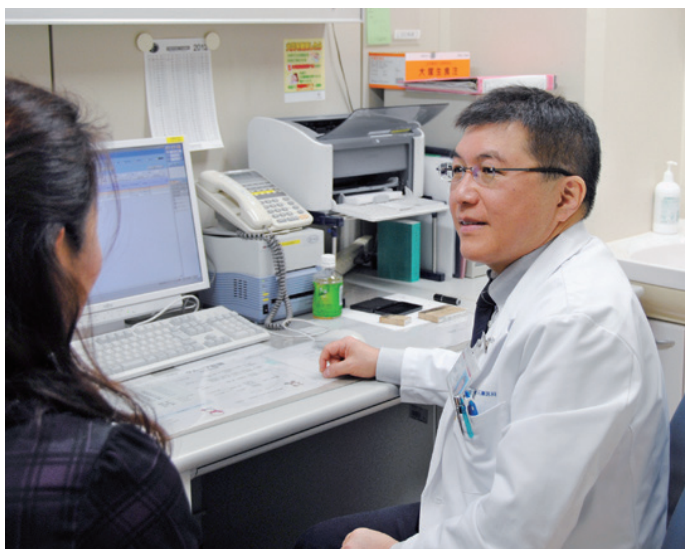
血液浄化センター

1972年の当院開設時に人工透析部が発足。2001年、水処理装置・透析液供給装置を更新し、衛生的で安全な透析ができるよう最新鋭の装置を導入しました。全科の患者さんを対象に、血液透析、腹膜透析、血漿交換、白血球除去、吸着療法などの治療と在宅療養の指導を行うため、2011年5月に組織化し、人工透析室を血液浄化センターに改称しました。



IBDセンター

炎症性腸疾患（IBD）の患者さんに対し、メディカルスタッフが協力し、内科・外科及び生活指導や栄養指導などを行なうチーム医療を実践。さらに充実した質の高い医療を行うため、2009年1月に組織化、同年5月より外来診療を開始しました。現在、内科2診、外科1診に加えて、ストーマ外来を併設しています。



内視鏡センター

内視鏡センターでは、消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）、胆・膵、気管支、胸腔のそれぞれの分野の専門家が、専属の看護師、臨床工学技士と協力、連携して質の高い内視鏡検査・治療を行っています。2015年11月には、さらに最新の機器を導入した新内視鏡センターを開設しました。



がんセンター

2007年7月に組織化、同年11月に8号館4階に開設。臓器ごとの腫瘍評議会による関連各科の横断的ながん診療を展開することで、診断、手術、放射線治療、がん薬物療法、がんゲノム診療など、安全で質の高い総合がん医療に取り組んでいます。当院は2008年2月より地域がん診療連携拠点病院に指定されています。



臨床研究支援センター

2014年8月に設置。当院での臨床研究推進を目的に、臨床研究や治験を計画・実施の段階から支援しています。また、当院における臨床研究や治験を安全かつ円滑に実施できるように、臨床研究や治験に参加していただいている患者さんのサポートを行っています。



医療支援センター

患者さんの外来受診、入院、退院（転院）、在宅ケアにいたるまで切れ目のないサービスを提供するため、2017年4月、1号館1階に外来支援、入院支援、退院支援、病床調整、地域調整の機能を統合した「医療支援センター」を設置しました。医師、看護師、ソーシャルワーカー、メディカルスタッフ、事務員など、多職種が連携して、患者さんをサポートします。



肝疾患センター

2008年4月に兵庫県から肝疾患診療連携拠点病院の指定を受け、兵庫県における肝疾患治療の中核病院として位置付けられたことに伴い、県内の他の肝疾患の専門病院、協力医療機関に対して肝疾患に関する指導的役割を担うとともに、当院において肝疾患の横断的治療を高度な水準で提供できる体制を整備する目的で、2008年10月に設置しました。

〈その他の中央診療施設〉

放射線医療センター

超音波センター

腎移植センター

生殖医療センター

総合診療センター

脳卒中センター など

〈関連施設〉

梅田健康医学クリニック

地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算2
歯科診療特別対応連携加算
特定機能病院入院基本料
救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1 20対1
急性期看護補助体制加算(25対1看護補助者5割以上)
(夜間100対1急性期看護補助体制加算)
(夜間看護体制加算)
看護職員夜間配置加算1(12対1)1
看護補助加算2(50対1)
無菌治療室管理加算1
無菌治療室管理加算2
緩和ケア診療加算
精神病棟入院時医学管理加算
精神科身体合併症管理加算
精神科リエンチーム加算
摂食障害入院医療管理加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
感染対策向上加算1、指導強化加算
患者サポート体制充実加算
報告書管理体制加算
ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算
呼吸ケアチーム加算
術後疼痛管理チーム加算
後発医薬品使用体制加算2
病棟薬剤業務実施加算1
病棟薬剤業務実施加算2
データ提出加算2
入退院支援加算2
入退院支援加算3
(入院時支援加算)
(地域連携診療計画加算)
認知症ケア加算1
せん妄ハイリスク患者ケア加算
精神疾患診療体制加算
排尿自立支援加算
地域医療体制確保加算
救命救急入院料1
救命救急入院料4(20床→18床へ)
救命救急入院料の注1に掲げる算定上限日数基準
救命救急入院料の注2に掲げる精神疾患診断治療初回加算
救命救急入院料の注8に掲げる早期離床リハビリテーション加算
救命救急入院料[4]の注9に掲げる早期栄養介入管理加算
特定集中治療室管理料1
特定集中治療室管理料の注1に掲げる算定上限日数基準
特定集中治療室管理料1の注4に掲げる早期離床リハビリテーション加算
ハイケアユニット入院医療管理料2
脳卒中ケアユニット入院医療管理料
総合周産期特定集中治療室管理料
総合周産期特定集中治療室管理料の注3に掲げる生育支援加算
新生児治療回復室入院医療管理料
小児入院医療管理料2
小児入院医療管理料の注7に掲げる養育支援体制加算
看護職員処遇改善評価料
歯科医療管理料の注1に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
ウイルス疾患指導料 注2に規定する加算
遠隔モニタリング加算(心臓ペースメーカー指導管理料)
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ
外来緩和ケア管理料
移植後患者指導管理料(臓器移植後)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
糖尿病透析予防指導管理料
外来放射線照射診療料

乳腺炎重症化予防ケア
婦人科特定疾患治療管理料
腎代替療法指導管理料
一般不妊治療管理料
生殖補助医療管理料1
下肢創傷処置管理料
外来腫瘍化学療法診療料1、連携充実加算
療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談支援加算
開放型病院共同指導料
ハイリスク妊産婦連携指導料1
ハイリスク妊産婦連携指導料2
こころの連携指導料II
がん治療連携計画策定料
肝炎インターフェロン治療計画料
外来排尿自立指導料
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料1
医療機器安全管理料2
精神科退院時共同指導料2
救急搬送診療料の注4に掲げる重症患者搬送加算
遠隔モニタリング加算(在宅酸素療法指導管理料に対する)
遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料に対する)
在宅経肛門の自己洗腸指導管理料
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
遺伝学的検査
染色体検査の注2に掲げる絨毛染色体検査
骨髄微小残存病変量測定
BRCA1/2遺伝子検査
がんゲノムプロファイリング検査
先天性代謝異常症検査
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
検体検査管理加算(IV)
国際標準検査管理加算
遺伝カウンセリング加算
遺伝性腫瘍カウンセリング加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
胎児心エコー法
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
ヘッドアップフェイルト試験
長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査
補聴器適合検査
黄斑病所網膜地図
全視野精密網膜地図
ロビービジョン検査判断料
コンタクトレンズ検査料1
小児食物アレルギー負荷検査
内服・点滴誘発試験
経管栄養凍結生検法
画像診断管理加算3
ポジトロン断層撮影
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
外傷全身CT加算
心臓MRI撮影加算
乳房MRI撮影加算
頭部MRI撮影加算
全身MRI撮影加算
血流予備量比コンピューター断層撮影
抗悪性腫瘍処方薬管理加算
連携充実加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理科
心大血管疾患リハビリテーション料(I)
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
運動器リハビリテーション料(I)
呼吸器リハビリテーション料(I)
がん患者リハビリテーション料
歯科口腔リハビリテーション料2
通院・在宅精神療法の注9に掲げる療養生活継続支援加算
精神科作業療法

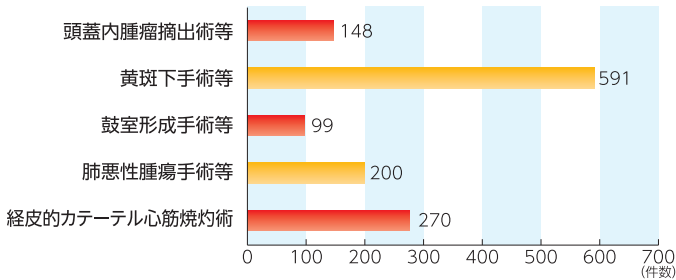
認知療法・認知行動療法1
抗精神療法定室別治療指導管理料
(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)
医療保護入院等診療料
口腔粘膜処置
レーザー機器加算
静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
人工腎臓
導入期加算2及び腎代替療法実績加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
移植後抗体連型拒絶反応治療における血漿交換療法
センチネルリンパ節加算
処理骨再建加算
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
後縦綫骨帯化症手術(前方進入によるもの)
椎間板内酵素注入療法
腫瘍脊椎骨全摘術
内視鏡下脳腫瘍生検術
内視鏡下脳腫瘍摘出術
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)(及び脳刺激装置交換術)
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
角結膜悪性腫瘍切除術
角膜移植術(内皮移植加算)
羊膜移植術
緑内障手術(流出路再建術(眼内法))
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
緑内障手術(濾過腔再建術(needle法))
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
網膜再建術
植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
耳管用補綴材挿入術
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術
人工中耳植込術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
乳がん悪性腫瘍手術(乳癌温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳癌温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
肺動脈狭窄手術(肺動脈狭窄切除(肺動脈、心臓弁閉鎖を伴うもの)に限る。)
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔、胆管閉鎖術、胃腸閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
胸腔鏡下弁形成術
経カテーテル大動脈弁置換術
胸腔鏡下弁置換術
経皮的僧帽弁クリップ術
不整脈手術 左心耳閉鎖術 胸腔鏡下によるもの
経皮的隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードペースメーカー)
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(恒態調節型の場合)
両心室ペースメーカー移植術(両心室ペースメーカーを用いるものは皮下埋込型を用いるもの、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び埋込型除細動器移植手術)
両心室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両心室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
補助人工心臓
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
腹腔鏡下リンパ節郭清術(傍大動脈)
内視鏡的逆流防止粘膜切除術
腹腔鏡下十二指腸腸胃切除術(内視鏡処置を併施するもの)
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)

腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
腹腔鏡下肝切除術
生体部分肝移植術
腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
内視鏡的小腸ポリープ切除術
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下腎盂形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
同種死体腎移植術
生体腎移植術
膀胱水圧拡張術
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
人工尿道括約筋植込・置換術
膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
埋没陰茎手術
陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
精巣内精子採取術
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下仙骨骨固定術
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下子宮頸癌部修復術
乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌疾患症候群患者に限る。)
子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌疾患症候群患者に限る。)
体外式膜型人工肺管理料
輸血管理料I
コーディネート体制充実加算
自己生体組織接着剤作成術
自己クリオプレシビート作製術(用手法)
同種クリオプレシビート作成術
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
手術時歯根面レーザー応用加算
う蝕歯無痛の高洞形成加算
歯根端切除手術 注3
手術用顕微鏡加算
血液交換療法 難治性高コレステロール血症に伴う重症脳血管障害を呈する脳血管性腎症に対するLDアフェレシス療法
歯周組織再生誘導手術
広範囲顎骨支持型装置埋入手術
顎関節人工関節全置換術(歯科)
麻酔管理料(I)
麻酔管理料(II)
麻酔管理料の注1に掲げる周術期薬剤管理加算
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療(IMRT)
画像誘導放射線治療(IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸性移動対策加算
画像誘導密封小線源治療加算
保険医療機関間の連携による病理診断
保健医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
保健医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速病理診断
病理診断管理加算2
デジタル病理画像による病理診断
悪性腫瘍病理組織標本加算
口腔病理診断管理加算2
クラウン・ブリッジ維持管理料
CAD/CAM冠
CAD/CAMインレー
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2

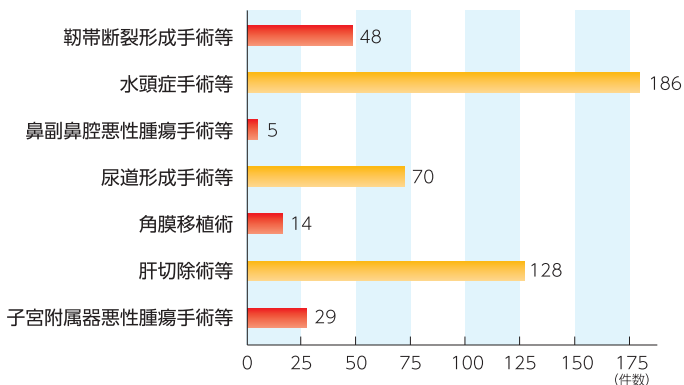
施設基準の設定されている手術件数

2022年1月～12月

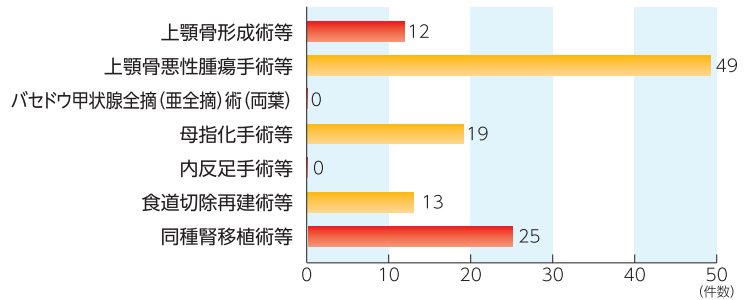
1. 区分1に分類される手術



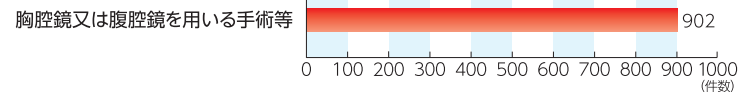
2. 区分2に分類される手術



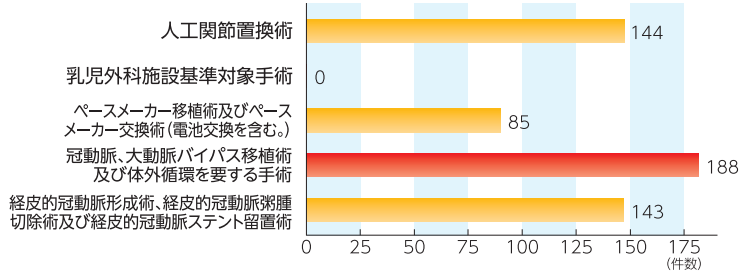
3. 区分3に分類される手術



4. 区分4に分類される手術



その他の区分に分類される手術



先進医療の承認状況

2023年3月現在

本学病院は、厚生労働大臣から次の先進医療の承認を受けております。

タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養

適応症 不妊症
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 32,000 円

子宮内膜刺激術

適応症 着床障害
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 14,810 円

子宮内膜受容能検査1

適応症 不妊症
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 103,050 円

子宮内細菌叢検査1

適応症 慢性子宮内膜炎疑い
診療科 産科婦人科
特別料金(自費料金) 56,850 円

術後のアスピリン経口投与療法

適応症 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)
診療科 下部消化管外科
特別料金(自費料金) 0 円 ※薬剤費(7,294 円)については無償提供

アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症

適応症 家族性大腸腺腫症
診療科 消化管内科
特別料金(自費料金) 51,250 円

※先進医療制度は、保険診療とは別に特別料金(自費料金)をご負担いただくこととなりますが、診察・投薬・検査・入院料などは保険診療の取扱いとなります。



交通のご案内

電車・タクシーでご来院される場合

- ◆ 阪神電車（本線）武庫川駅下車、西出口より徒歩5分
- ◆ 阪神電車・甲子園駅下車、タクシーで約5分
- ◆ JR甲子園口駅下車、タクシーで約10分



お車でご来院される場合

- ◆ 神戸方面から
阪神高速神戸線「西宮」出口から国道43号線へ
国道43号線「鳴尾」交差点で阪神高速の武庫川
入口の側道に入り、3つ目の交差点を左折（→）
- ◆ 大阪方面から
阪神高速神戸線「武庫川」出口から国道43号線へ
国道43号線「鳴尾」交差点を左折、1つ目の
交差点を左折、3つ目の信号を左折（→）
国道43号線「鳴尾」交差点を右折（Uターン）
- ◆ 西宮（JR・阪急）方面から
武庫川沿い（西宮市側）を南下（→）または
小曾根線を南下、阪神電車踏切を通過し
国道43号線「鳴尾」交差点を左折（→）
- ◆ 名神高速
「西宮インター」から国道43号線（大阪方面）へ



兵庫医科大学病院

特定機能病院

〒663-8501

兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL.0798-45-6111 (代表)

<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp>